すすき野三丁目地区　地域緑化計画書

計画名：すすき野団地みどりアッププロジェクト

推進団体名：すすき野団地みどりアッププロジェクトチーム

この地域緑化計画書は、公開します。

地区の範囲

計画期間	令和３年度　～　令和５年度
計画の目標	《提案計画の目標》 みどりアップで団地と地域を「魅力」アップ！
	＜具体的な目標＞ 目標１：「散歩したくなる団地づくり」 　四季折々の彩りを感じ、団地及び地域の方々が憩い、楽しみ、「散歩したくなる団地」にする。 目標２：次世代につながる植栽景観・運営体制づくり 宿根草等をメインとした植栽や水やり設備、継続的な運営体制づくりなど長期的なメンテナンス性に考慮した、次世代につながる景観・体制づくりを行う。 目標３：地域との共創を通じた持続的なコミュニティづくり 　地域と共に緑化活動を行い、団地住民と地域との関係づくりや地域における次世代の担い手の発掘・育成を目指す。
課題及び背景	・すすき野団地は、昭和４９年に旧住宅公団が開発・分譲された８２０戸からなる大規模団地である。 ●団地全体の緑の量は多いものの、四季の風情を感じられるような花や紅葉樹は少なく、緑地も雑草化してきている ●バス通り沿いのすすき野地区のシンボルでもある桜並木も老木化し、枯れ枝や一部では腐朽が進行している樹木がある状況で伐採・植替えを検討していたが費用面も含めて手が打てていない状況。 ●経年による土の流出や植栽の衰退による裸地化が各所で発生している。 ●新しい住民が少しずつ入ってきてはいるが、高齢化が進み、自治会加入率は６割を切る状況のため、コミュニティが希薄で、地域活動も不活発。 ●住民の高齢化により購買力が低下し、地域の商店会も衰退してきている。
課題解決及び効果	●より四季の彩りある花や景観の良い緑化が進むことで、団地やその周辺地域の魅力が向上し、新しい住民の流入が期待される。 ●すすき野地区のシンボルである桜並木を次世代に引き継ぐ緑として再生していくことは、貴重な緑を維持していく象徴として、地域の活力やさらなる魅力アップにつながる。 ●緑化に関するイベントを通じて、継続的な運営体制づくりに向けた新たな担い手の発掘や住民の緑への興味関心づくり、次世代へ緑を受け継いでいく風土の醸成が図れる。 ●団地住民だけではなく、その周りの地域住民や民間事業者とのつながりが生まれることで、緑に限らず日常生活や災害時の際には助け合いや支え合いが望まれる。また、地域の活性化にも大きく寄与することが考えられる。

組織づくり	・住民有志で一般社団法人を設立している。この法人や、管理組合や自治会の組織を横断して、「すすき野団地」住民全体をまとめ、近隣地域と共に、協働で活動できる事務局的組織体制を作っていく。 ・上記のそれぞれの組織から専任の要員を選出してもらう。更に自主的な活動をしている「すすき野ガーデンクラブ」の皆さんと連携し、多くの住民が緑に親しみながら活動して、未来につながる組織づくりを行っていく。 ・事務や広報は事務局を作り、特定の限られたメンバーに荷重がかからないよう、負担軽減を図れる持続できる組織運営に努める。
計画期間中の緑化整備及び活動の概要について	＜民有地緑化・景観木保全＞ ・団地住民、地域住民の主要動線沿いを花壇化し、より多くの住民が緑化活動に参加できる形を作る。 ・団地住民だけではなく、近隣の民間事業者・商店会と協働による緑化により、今住んでいる人がより良く暮らせる場を作り、新たな住民を呼び込むきっかけにする。 ・老木化しているバス通り沿い桜並木の樹木診断及び樹勢回復・更新作業（景観木保全）を行い、地域の誇りと憩いの空間を再価値化していく。
	＜地域緑化活動＞ ・雨水タンク等の水やりの環境や~~堆肥~~置場を整備し、労力やコストの低減を図りながら、継続的な管理のしやすい環境を作る。 ・ホップの栽培・収穫を通じて既に取り組みが行われている「横浜青葉小麦ビールプロジェクト」と連携し、すすき野地区だけではなく青葉区の諸団体・企業等との連携を図り、より広い地域活動や地域生業につなげる。 ・楽しみながら参加できる園芸イベントや講習会などを行い、人材の発掘や担い手育成を行う。それによって地域により多くの緑化活動に参加できる住民を増やす。
計画期間終了後の活動について	・「よこはま緑の推進団体」や「ハマロード・サポーター」への登録を行い、花苗の提供や育成リーダーの養成などを行い持続的な活動につなげる。 ・団地内から出る「落ち葉」を活用して、堆肥化して肥料などを自給できる体制づくりを行う。また、それらを通じて住民や近隣学校と連携し、環境教育に結びつけることを考えたい。 ・恒常的に専門家のアドバイスを受けながら、イベントや講習会を定期的に行い関係性が持続・循環する形を行いたい。それによってより多くの住民の参加を求めて、関係性の輪を広げて、コミュニティを活発化させて、より「安心」「安全」な地域づくりに寄与したい。
資金計画	・本事業の 1 割負担分については、管理組合の植栽費用から支出する。自治会や参加事業者にも費用負担の一部を協力してもらうことを提案する。 ・計画終了後は、管理組合の管理費の一部（例えば月 1 戸あたり 50 円×820 戸×12 か月　約 50 万円）を緑化のための基金とすることを今後検討する。 また、同様に自治会にも会費の一部を同じように基金の資金として、負担してもらうことお願いし、あわせて近隣商店会や民間事業者からの資金や物品等の提供も検討していく。

計画年次	計　画　内　容
１年度目 （令和３年度）	＜１年度目（令和３年度）＞ ○　民有地緑化　①団地正面にあたる 6-1,2 法面に緑や花を植えて、団地のイメージアップを図る（植える緑やデザインをどうするかは令和 1,2 年度に、団地住民で話し合いを重ねて決定済。当年度はその範囲を広げていく）②湯けむりの里側にホップを植えて、地域の能動的な参加者を増やす。・地域緑のまちづくりで植えた緑や花への水やりの為の雨水タンク設置（３箇所程度） ○　景観木保全　サクラ並木樹木診断　21 本（診断・調査） ○　地域緑化活動　・地域緑のまちづくりの各地区の活動の見学会。・参加者の輪を広げる為の地域緑の説明と植える初期段階の見学会、ツアー。・中学校側ゴミ置き場をどの様な花壇にするか中学生等地域住民とのアイデア出し。・堆肥置場~~枠~~設置（1 箇所）。・腐葉土づくり学習講座（輪の醸成）。・広報誌発行。・民有地緑化で整備した箇所の維持管理の為の花苗や用具の購入
２年度目 （令和４年度）	＜２年度目（令和４年度）＞ ○　民有地緑化 ③各掲示板下に魅力的な花や緑を植える。④3-19 交差点花壇の植替え。⑤各所法面ススキ・ハギ等植付け。⑥商店街側に花のプランター設置。⑦3 街区ポンプ室植栽地の土留・花壇化。⑧3－8 号棟側階段側面の花壇化。⑨1 年目のアイデアを反映した、中学校前ごみ置き場や通り沿いの花壇化。・地域緑のまちづくりで植えた緑や花への水やりの為の雨水タンク設置。（３箇所程度） ○　景観木保全　サクラ並木樹勢回復工事 ○　地域緑化活動・花や緑、ホップ等の管理方法の講習会（学習講座）＆イベント。・商店街側プランターを地域の人たち参加型で植替えワークショップ（コーヒー麻袋でプランター作り）。・当事業で植えた花やグランドカバープランツの説明と当事業の説明を行う講習ツアー。・堆肥置場設置（２箇所程度）・広報誌発行・民有地緑化で整備した箇所の維持管理の為の花苗や用具の購入
３年度目 （令和５年度）	＜３年度目（令和５年度）＞ ○　民有地緑化⑩6 街区バス停の上『ロマンススポット』に、すすき野団地らしい草花を植える。（ススキなど）。⑪バス停沿い（植栽桝）の花壇化をして、通行する市民に見て愉しんで頂く。 ○　景観木保全　サクラ並木樹勢回復工事 ○　地域緑化活動　・樹名板設置（本事業で植栽した樹木を対象）・伐採木を使用したみどりアップのサインの設置、通りの名前も載せる・当事業で植えた花やグランドカバープランツの説明と当事業の説明を行う講習ツアー・花畑マルシェ（育てた草花等での作品作りや寄せ植え体験等）、育てたホップの収穫祭の実施（3 年間の活動成果を発表する場としてのイベント）・広報誌発行・民有地緑化で整備した箇所の維持管理の為の花苗や用具の購入
創意工夫	・地域の人的資源を掘り起こし、地域に暮らす人々が【参加】する実感と楽しみを共有しながら、団地だけではなくすすき野団地近隣のバリューアップを図る取り組みを考えた。 ・持続性が保てるよう堆肥を自ら作り、管理コストや労力の低減を図り、より大きな効果を生み出すように人的・経済的な持続性にも十分配慮した計画とした。

緑化計画図

①6街区南側パッチワーク緑化
法面の枠を活かして彩のあるパッチワークとして緑化を行い車と歩行者の主要動線のバス通りの景観向上を図る。
ヒメツルソバ
シバザクラ
桜並木再生・保全
バス通り及び団地のシンボルである桜並木が老木化し、枯れ枝やそれによる樹形の乱れがみられるため、樹木診断と並木の再生を図る。
2019年3月31日の夜採イベントの様子
②湯けむりの里ホップ壁面緑化&コミュニティづくり
緑への愛着を持つきっかけづくりとして、ホップを使った壁面緑化を実施し、湯けむりの里やあおば小麦プロジェクト等の地域団体と連携したコミュニティづくりを図る。
雨水タンク設置
緑化計画で植えた緑や花の水やり用として雨水タンクを設置する。
6街区
3街区
湯けむりの里
桜並木再生・保全
(ピンク実線)
主要動線
③掲示板下の花壇化(☆)
各掲示板下に魅力的な花や緑を植える。
⑨中学校前通り沿い花壇化
団地住民及び地域住民の主要動線である中学校前の通りの草地を花壇化し彩を増やす。
イメージ:2019年6月に観えた6街区花壇
プレイロットへの堆肥置場の設置
落葉から堆肥を作り、活動への参加促進と多比を地産地消することで継続的な花壇管理を行うと共に、環境等テーマで地域の小中学生との交流を図る。
植物の育て方・活かし方の講習ツアー
身近なグランドカバープランツを愛で、また活かす考え方を取り入れ、団地や地域で植物に愛着を持つ取り組みを行い、自主活動への興味関心のきっかけづくりを図る。

(A3)

概算事業費（単位：千円）（注1,5）

助成項目	細目	1年度目（令和３年度）	2年度目（令和４年度）	3年度目（令和５年度）	項目ごとの合計	※【参考】 助成率・助成金額の上限
1　民有地緑化	①設計等経費	0 （主な内容）	0 （主な内容）	0 （主な内容）	0	100%以内
	②緑化整備等経費 （注2）	7,554 （主な内容） ①6-1,2法面に緑や花を植える ②湯けむりの里側にホップを植える ・雨水タンク設置（３箇所程度）	3,422 （主な内容） ③各掲示板下に花や緑を植える ④3-19交差点花壇の植替え ⑤各所法面ススキ・ハギ等植付け ⑥商店街側に花のプランター設置 ⑦3街区ポンプ室植栽地　土留・花壇化 ⑧3－8号棟側階段側面の花壇化 ⑨中学校通り沿いの花壇化 ・雨水タンク設置（３箇所程度）	724 （主な内容） ⑩6街区バス停の上『ロマンススポット』に草花を植える（ススキなど） ⑪バス停沿い（植栽桝）の花壇化	11,700	90%以内
	合計額 （注9）	概算事業費　7,554 **（助成見込額）　(6798)**	概算事業費　3,422 **（助成見込額）　(3079)**	概算事業費　724 **（助成見込額）　(651)**	11,700 **10,528**	
2　景観木保全	①調査費	0	0	0	0	100%以内
	②診断書作成費	420	0	0	420	100%以内 （上限20千円/本）
	③治療費	0	550	500	1,050	③と④は各景観木1本につき、合計50千円以内 100%以内 （上限50千円/本）
	④環境整備費	0	0	0	0	100%以内 （上限50千円/本）
	合計額 （注9）	概算事業費　420 **（助成見込額）　(420)**	概算事業費　550 **（助成見込額）　(550)**	概算事業費　500 **（助成見込額）　(500)**	1,470 **1,470**	
3　地域緑化活動 （注3）	①維持・管理費	190	293	34	517	①～④の合計 1,000千円以内 ／年度 100%以内
	②広報・研修費	680	567	826	2,073	100%以内
	③事務費	100	100	100	300	100%以内 （上限100千円/年度）
	④諸雑費	30	40	40	110	100%以内 （上限40千円/年度）
	合計額 （注9）	概算事業費　1,000 **（助成見込額）　(1000)**	概算事業費　1,000 **（助成見込額）　(1000)**	概算事業費　1,000 **（助成見込額）　(1000)**	3,000 **3,000**	
年度ごとの合計 （注4,6,7,8）		概算事業費　8,974 **（助成見込額）　8,218**	概算事業費　4,972 **（助成見込額）　4,629**	概算事業費　2,224 **（助成見込額）　2,151**	総合計　16,170 **14,998**	助成見込額の３年度の総合計が15,000千円以内

（記入時の注意事項）
注1：各細目には、提案計画の助成金と自己負担金を含めた概算事業費（予定金額）を記入してください。計画がない項目や細目は、0（ゼロ）を記入してください。
注2：民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。（助成金申請時に、自己負担金が用意できることが助成金交付の要件となります。）
注3：地域緑化活動の助成項目では、１年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。
注4：民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は３年度で15,000千円が助成金額の上限となります。
注5：千円単位で記入してください。（なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。）
注6：本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。
注7：年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）
注8：上限内での年度ごとの項目内における、細目間での事業計画の見直しは、可能です。（２年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど）
注9：各項目内における細目の合計欄には、概算事業費（予定金額）と、助成見込額の合計を記入してください。なお、助成見込額には、（）を付けてください。